

第 32 回 100 年史誌部会 議事録

日時: 2008 年 12 月 2 日(火) 16 時 10 分～17 時 10 分

場所: 管理棟 2 階 第一応接室

出席者: 横山部会長、松田、神戸、小山、栗野、奥山、小池、高畑、片山、山崎、鈴木(清)、小室編集局員、細谷(ぎょうせい)

欠席者: 大町、金子各委員、斎藤編集補助員

【配布資料】

[資料 32-1] 「今月の話題」の今後の進め方について(改訂)

[資料 32-2] 100 周年記念誌(Journal)第 32 回部会議題

[資料 32-3] 山大工学部 100 周年 今月の話題 (超暫定途中稿)

[資料 32-4] 工学部通史執筆広報・担当割当案/ページ割り付けガイドライン

I) 連絡事項

1. 次回(1 月)の「今月の話題」は金子委員が担当する旨、小室編集局員から報告があった。
2. 「今月の話題」の執筆順序について、赤平委員に替わり鈴木清一委員が赤平委員の後に入る。鈴木委員の執筆は 2 月の予定(参考: 資料 32-1)

II) 協議事項

1. 100 周年記念誌

(1) 「百人の声」執筆依頼と原稿到着状況

- ・ 松田班長が[資料 32-2]に基づき、物質化学工学の 2 件、工業会・今井前理事長から原稿の提出があったと報告した。
- ・ 細谷氏から今後の原稿の取り扱い方について説明があった。今後、提出された原稿を基に版組みをし、文章・内容について校正を行なう。明らかな誤字・脱字の類、簡単な文章や表現の書き直しに関しては、ぎょうせいに一任させていただければ、効率の良い編集が可能になる。ゲラ稿を著者校正すると時間がかかる(返却されない)場合が多い。
- ・ これに対して、著者校正が必要であるとの意見が出されたが、今後発送する執筆依頼状に、明らかな誤字・脱字の修正、年号などの誤り、簡単な文章表現の修正に関して編集局に一任して欲しい旨を追加することとした。
- ・ 以下、各系の委員から進捗状況説明があった。機能高分子工学ではこれから人選を行なう。電気電子工学では再度依頼した。情報科学では原稿を頂いたので、コピーし出席委員に配布した。共通講座では、高橋眞映先生に依頼、快諾を頂いた。菅野先生、引き受けていただいた。大坪先生依頼中。生体センシングは赤塚先生に郵送で依頼。まだ返信無し。工業会は山岸さんに再度依頼を行なう。事務部は青木元職員が体調を崩されたとのことから、保留中。

(2) 記念誌掲載用写真の撮影募集の件

- ・ 松田班長が[資料 32-2]に基づき、キーワード・コンセプト、また他に希望する写真撮影の題材について説明があった。また、「各科・系、部局の厳選キーワード・コンセプト」マトリックスに基づき、写真があった方が良くと思われるキーワードを赤字で示した。今後も見直しをかけていくので、提案があったら、Journal 班まで連絡して欲しい旨、要請があった。

(3) 「ぎょうせい」の経過報告

- ・ 細谷氏から経過報告があった。
- ・ 写真撮影は順調に進んでいる。先日の会議の日とその翌日に撮影を行ない、予定の 8 割ほど

終了した。

- ・ 博物館など、特別の許可を必要とするものは未手配である。博物館では『伝国の辞』や『具足』などの貸し出し用の写真が用意されている。申請は書籍の発行元ということで、大学になるであろう。担当者は「(株)ぎょうせい」になる。ぎょうせいで申請書を作成し、申請の代行を行なうことで、今後の作業を進めたい。
- ・ 米織関係では先日推薦のあった(株)新田に、本日(12月2日)行ったが代表者が不在であった。明日(12月3日)もう一度行く。本日は代表者の奥様が対応してくださったが、感触は良く、取材することの問題は無さそうである。最初は話を聞いて、取材者が米織に関する基礎知識を蓄積した上で撮影を行ないたい。(株)新田の取材は今月中に行なう予定である。

2. 百年史

(1) 「今月の話題(12月度)」

- ・ 最初、高分子の出身で米沢工業高等学校の先生に依頼したが、返事が無かった。そこで、島貫洋氏(E修48)に依頼した。11月末までには原稿の完成には至らなかったが、資料32-3に閉める途中稿が送られてきた。また、島貫氏にお願いした後、米沢工業の先生からも返事が来た。従って、2件の原稿が集まりそうである。
- ・ 両方とも採用する方向で進める。

(2) 「百年史」の今後の進め方について(その2)

- ・ 前回の議論を元に修正をした「工学部通史執筆広報・担当割当案/ページ割り付けガイドライン」(資料32-4)に基づき小室編集局員から説明があり、担当者や執筆候補者について意見交換を行った。
- ・ 小山委員が「第8章 工業短期大学の改組」の執筆候補者に尾形先生を推薦した。小山委員から尾形先生に依頼する。
- ・ 奥山澄雄委員が「第10章 入試過誤」の執筆候補者に奥山克郎先生を推薦し、了承された。
- ・ 担当者、執筆候補者ともに空欄となっている部分があるので、該当者があったら随時推薦いただきたい旨、要請があった。
- ・ ガイドラインに示したページ数案は、第一章は山形大学に直接関わる部分では無いため、少なめに見積もった他は、基本仕様の前ページ数を項目数で単純に割ったものであり、執筆の目安と考えて欲しい旨、説明があった。

III) その他

- (1) 原稿は電子ファイルの形式で編集室まで送ってくださると都合が良い。以前の資料も電子化する。また、手書きや図面など、電子ファイルではない資料も編纂室で対応するので、原稿を編纂室まで送っていただきたい。

III) 次回の会議について

- (1) 次回は12月24日(水)16時10分から、管理棟2階 第一応接室

2008年12月8日(高畑)